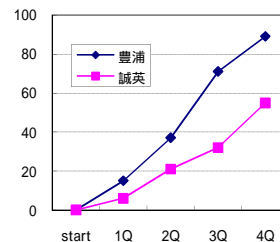


**平成20年度 山口県高等学校バスケットボール新人大会兼山口県体育大会**  
**H21年(2009年)1月16日(金)・17日(土) 下松スポーツ公園体育館**

男子決勝リーグ 1月16日 9:30

<b>豊浦 vs 誠英</b>	15 - 6	22 - 15	34 - 11	18 - 23	<b>89 - 55</b>
	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
<b>Starters</b>					
豊浦 #4 清水 #5 三戸 #9 明石 #11 原田 #14 林	主審 渡辺 博史				
誠英 #4 三輪 #6 國分 #9 村田 #13 柳田 #18 末富	副審 松本 理				

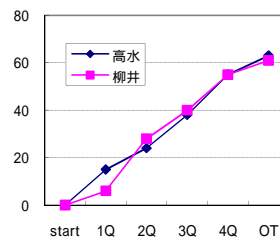
両チームマンツーマンでスタート。誠英は動きながらドライブを狙う。豊浦はインサイドにボールをつなげ、確率のよいシュートを狙う。しかし、両チームともミスが多く、得点に結びつかない。開始5分で2-2と重いゲーム展開となる。その後豊浦は#4のスチールからの速攻、1on1などでゲームが動き出す。誠英も#13、#4、#18の1on1で応戦するが、得点にならず、15-6と豊浦リードで1Qを終了。2Qに入り、誠英は#4、#8を中心に攻めるが、チーム全体の動きが悪く、単発のシュートとなり、反撃のきっかけがつかめない。一方、豊浦はリバウンドからの速攻を中心に自分たちのバスケットを展開し、徐々に得点が広がっていく。その後も豊浦のファールが多く誠英フリースローを得るが、決めることができず、37-21で前半を終了。後半も誠英は流れがつかめず得点することができない。豊浦は、得意のDEFからの速攻や3Pなどで誠英を引き離していく。結局終始自分たちのバスケットを展開した豊浦がリーグ戦緒戦を危なげなく勝利した。(葉山雅基)



男子決勝リーグ 1月16日 11:00

<b>高水 vs 柳井</b>	15 - 6	9 - 22	14 - 12	17 - 15	8 - 6	<b>63 - 61</b>
	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	TOTAL
<b>Starters</b>						
高水 #4 宮儀 #5 萬野 #9 川本 #10 山本 #11 上村	主審 有澤 重行					
柳井 #6 岡村 #7 松田 #8 高村 #9 山本 #13 三宅	副審 唐渡 大輔					

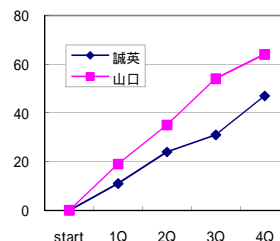
両チームマンツーマンで始まる。外からのシュートが決まらず、3分経過して、2-1。高水がDEFとOFFリバウンドから得点を重ね、15-6で1Q終了。2Qに入り、柳井は#13の3Pと#7の得点からOFFのリズムを作り、一方高水はファールが続いて5分に20-21と柳井が逆転。柳井のリズムで2Q終了24-28。3Q5分高水はDEFを2・3ゾーンに変える。38-40で3Q。4Qに入り、両チームともインサイド・アウトサイドから得点を重ね、残り1分で55-53。そして、高水・柳井の順でタイムアウト後得点をし、55-55で4Q終了。延長に入り、2分間両チームともに、シュートが決まらない。その後、高水は#4と#11、柳井は#7と#8がドライブからファールを得て得点を重ね、残り3秒で61-61。高水はタイムアウト後、#11のシュートが決まり63-61で試合終了。(國本 剛)



男子決勝リーグ 1月16日 12:30

<b>誠英 vs 山口</b>	11 - 19	13 - 16	7 - 19	16 - 10	<b>47 - 64</b>
	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
<b>Starters</b>					
誠英 #4 三輪 #6 國分 #9 村田 #13 柳田 #18 末富	主審 河村 正夫				
山口 #4 木原 #5 橋口 #6 三輪 #7 藤中 #9 祐村	副審 中村 秀昭				

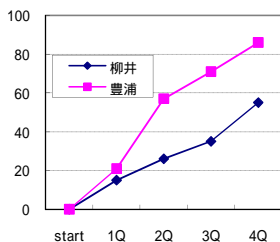
両チームマンツーマンでスタート。誠英は2ゲーム目ということもあり#18や#4、#13の活躍でリードを奪う。対する山口は初戦ということもあってシュートが中々決まらない。しかしモーションから1on1を徹底し徐々にリズムを作っていく。また、持ち前の厳しいDEFからの速攻が決まり、7分には10-9と逆転。誠英は山口のDEFを崩すことができず、単調な1on1となり得点することができない。山口は終盤3連続3Pで19-11と点差を広げ1Qを終了。2Qに入っても山口はモーションからの1on1、厳しいDEFからの速攻で得点を重ねていく。誠英は#18ポストプレーからの合わせを基点にOFFを展開するが、点差をつめることができない。結局前半35-24の山口リードで終了。後半に入っても、山口はレックスモーションから徐々に点差を広げていく。誠英は#4が怪我のため交代し、#18が中心に1on1を試みるが、山口のDEFを破ることができない。結局終始自分たちのバスケットボールを徹底した山口が64-47で勝利し1勝目を挙げた。誠英は初日2敗と苦しいリーグ戦となった。(葉山雅基)



男子決勝リーグ 1月16日 14:00

<b>柳井 vs 豊浦</b>	15 - 21	11 - 36	9 - 14	20 - 15	<b>55 - 86</b>
	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
<b>Starters</b>					
柳井 #6 岡村 #7 松田 #8 高村 #12 西村 #13 三宅	主審 高木 直樹				
豊浦 #4 清水 #5 三戸 #9 明石 #11 原田 #14 林	副審 枝折 康孝				

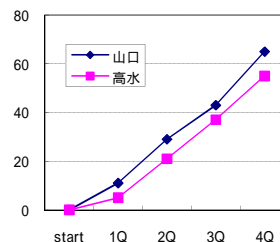
両チームマンツーマンでスタート。柳井#8のドライブで先制。豊浦は#14のポストプレーですぐに入れ返す。その後#14の2連続3Pや#4の1対1などで得点を重ねる。柳井は果敢に1対1を仕掛け相手ファウルを誘い、フリースローを得るがそのフリースローが入らない。15-21豊浦リードで1Q終了。柳井は#7を中心に攻めを組み立てるが得点できない。対する豊浦はよく走り、速攻で一気に点差を広げていく。柳井は#4に対してボックスワンを仕掛け、流れを変えようとするが、豊浦は#8の3Pなどでゾーンをうまく攻め、26-57で前半終了。後半に入ると柳井はDEFをがんばり豊浦に4分間得点を許さない。ここで点差をつめたいところだが、柳井は打つシュートがごとくリングに嫌われる。すると豊浦にリズムが傾き前半同様、速攻が始め点差が徐々にひらいていく。最後に柳井はがんばりを見せるが、55-86で豊浦勝利。豊浦は2勝。柳井は2敗で1日目終了。(枝折健吾)



男子決勝リーグ 1月16日 15:30

<b>山口 vs 高水</b>	11 - 5	18 - 16	14 - 16	22 - 18	<b>65 - 55</b>
	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
<b>Starters</b>					
山口 #4 木原 #5 橋口 #6 三輪 #7 藤中 #9 祐村	主審 松本 隆志				
高水 #4 宮儀 #5 萬野 #9 川本 #10 山本 #11 上村	副審 米村 悠美				

両チームともシュートが決まらず重たい立ち上がり。山口は#4の1対1から、高水は外郭のシュートにより得点を狙うが、お互いなかなか決まらず、1Q11-5のロースコアで終了。2Q中盤より、山口はDefをより一層強め相手のターンオーバーを誘う。Offセットプレーを中心に内外バランスよく加点していく。攻めあぐむ高水は#4が孤軍奮闘するがなかなかリズムに乗れない。29-21で前半終了。後半早々山口は#6#4の連続得点で点差を広げる。更にゾーンプレスから一気に試合を決めにかかるが、高水も落ち着いて対応し、逆にアウトナンバーをものにして追いつき、43-37で3Q終了。4Q、高水#4の連続3Pで同点に追いつき、残り3分まで一進一退の攻防が続く。終盤高水が核となる選手を負傷で欠く間、激しいDefからの速攻で山口が差を広げていく。高水必死で追いつくが、65-55で試合終了。最後まであきらめず戦い抜いた山口の粘りが印象深いゲームであった。(唐渡大輔)

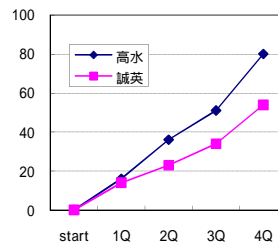


平成20年度 山口県高等学校バスケットボール新人大会兼山口県体育大会  
H21年(2009年)1月16日(金)・17日(土) 下松スポーツ公園体育館

男子決勝リーグ 1月17日 9:30

<b>高水 vs 誠英</b>	16 - 14	20 - 9	15 - 11	29 - 20	<b>80 - 54</b>
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
高水 #4 宮儀 #5 萬野 #9 川本 #10 山本 #11 上村	主審 渡辺 博史				
誠英 #4 三輪 #6 國分 #9 村田 #13 柳田 #18 末富	副審 平田 一昌				

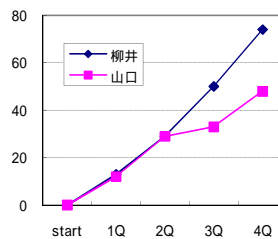
私立校同士の対戦。両チームマンツーマンで開始。共に能力の高い1対1を起点に攻撃を仕掛ける。誠英は#4、#6で先手を取るが、攻守の切り替え時にミスが多く流れを作れない。高水はスロースタートではあったが、#10のドライブ、#4の3Pで得点し動きをよくしていく。16 - 14で1Q終了。2Q、誠英はOFFの動きに精彩を欠き、1対1が作れず苦しい展開。高水は、ターンオーバーからの速攻、#5の3Pで加点し点差を広げ、36 - 23で前半終了。後半追いつきたい誠英は#6の3P、#4のジャンプシュートで連続得点し、36 - 28。何とか1マークでついていきたいところだが、後が続かない。一方高水は、速攻、ドライブ、3Pと手を緩めることなく得点し、51 - 34と点差を広げて3Q終了。4Qも流れは高水。特に#5の3Pが止まらない。誠英は、いったんスイッチの入った高水の勢いを止めることができず、結局80 - 54で試合終了。高水は2勝目を挙げ、誠英は痛い3敗目を喫した。(荒瀬 勇)



男子決勝リーグ 1月17日 11:00

<b>柳井 vs 山口</b>	13 - 12	16 - 17	21 - 4	24 - 15	<b>74 - 48</b>
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
柳井 #6 岡村 #7 松田 #8 高村 #13 三宅 #14 市川	主審 勝原 芳徳				
山口 #4 木原 #5 橋口 #6 三輪 #7 藤中 #9 祐村	副審 浅利 祐輝				

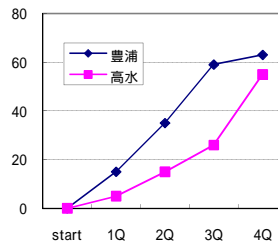
1Q、両者マンツーマンでスタート。両チーム#7のシュートで始まった。DEFを頑張り中々得点が伸びない。柳井#6#7のポストプレーで得点を重ねる。13 - 12で1Q終了。2Q、柳井モーションオフェンス、山口#4の1対1で攻める。柳井ペースになりかけたが残り4分山口#15の連続シュートで食い下がる。その後一進一退の攻防が続き前半29 - 29で終了。3Q、柳井ゴール下で得点を重ねる。山口5分間ノーゴール。たまたま山口T.O.、39 - 29柳井リード。T.O後、山口ゾーンにDEFを変える。山口#7のシュートが決まり初ゴール。山口7分40秒ノーゴールだった。3Q、50 - 33柳井リード。4Q、山口ゾーンプレスを仕掛け得点を縮めにかかるが、なかなか縮めることができない。山口#8が一矢報おうとするが柳井の猛攻を止めることができない。そのまま76 - 48で試合終了。柳井初勝利を飾った。山口最終戦にどう立て直して行くか楽しみである。(枝折康孝)



男子決勝リーグ 1月17日 12:30

<b>豊浦 vs 高水</b>	15 - 5	20 - 10	24 - 11	4 - 29	<b>63 - 55</b>
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
豊浦 #4 清水 #5 三戸 #9 明石 #11 原田 #14 林	主審 有澤 重行				
高水 #4 宮儀 #5 萬野 #9 川本 #10 山本 #11 上村	副審 石原 大資				

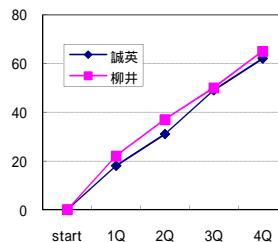
両チームマンツーマンでスタート。非常に重たい立ち上がりを見せる。しかし、6分過ぎ豊浦の速攻が始め、試合が動く。#4のミドルや#14の3Pで得点を重ねる。対する高水はミスが目立ち6分間ノーゴール。15 - 5豊浦リードで1Q終了。2Qに入ると高水はDEFを2 - 3ゾーンに変える。豊浦はゾーンに戸惑いなかなか点を取れない。高水はここで少しでも点差をつめておきたいが、豊浦の激しいDEFを攻めることができない。5分を過ぎると豊浦はゾーンになれ、5連続得点をして点差を広げて35 - 15で前半終了。3Q高水はDEFをマンツーマンに戻す。豊浦の勢いは後半になって止まらず、#9や#11のドライブ・速攻などで得点し、点差は離れる一方。59 - 26で3Q終了。4Qに入ると高水は怒涛の追い上げを見せる。#4、#5の3Pや#9のリバウンドシュートなど8連続で得点する。さらにオールコートでプレッシャーをかけ相手のミスを誘う。しかし、3Qまでの33点差を追い越すことはできず、63 - 55で試合終了。(枝折健吾)



男子決勝リーグ 1月17日 14:00

<b>誠英 vs 柳井</b>	18 - 22	13 - 15	18 - 13	13 - 15	<b>62 - 65</b>
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
誠英 #4 三輪 #6 國分 #9 村田 #13 柳田 #18 末富	主審 多賀谷 豊				
柳井 #6 岡村 #7 松田 #8 高村 #13 三宅 #14 市川	副審 藤田 薫				

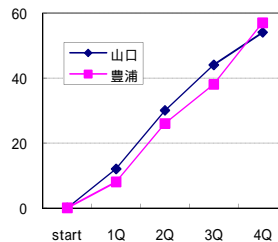
両チームマンツーマンDEFでスタート。柳井は#6#7にボールを集めインサイドで得点を重ねる。対する誠英はドライブインからチャンスを作り追いかける展開。22 - 18で1Q終了。2Qに入り柳井は持ち味である粘り強いDEFでリズムに乗り、点差をじわじわと上げていく。誠英は#18のアシストパスからきっかけを作り追いすがり37 - 31で前半終了。後半に入っても柳井は#6#7を中心に攻撃。誠英はポストプレーを5人がかりでつぶしにかかりターンオーバーから速攻をものにし50 - 49で3Q終了。4Q一進一退の攻防が続く。柳井2点リードで残り1分半、誠英#4が逆転3P。すぐさま柳井は#7が入れ返し再逆転。誠英#4が意地のリバウンドシュートで再び1点リード。柳井は#7のバスケットカウント、フリースローリバウンドを#6がもぎ取り、#13がファールゲーム2ショットを確実に沈め3点差とする。誠英#4がブザービーター3Pを放つもリングに嫌われ65 - 62でタイムアップ。満身創痍の中40分間集中力を切らさない両チームの健闘が光るゲームであった。(唐渡大輔)



男子決勝リーグ 1月17日 15:30

<b>山口 vs 豊浦</b>	12 - 8	18 - 18	14 - 12	10 - 19	<b>54 - 57</b>
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
山口 #4 木原 #5 橋口 #6 三輪 #7 藤中 #9 祐村	主審 松本 隆志				
豊浦 #4 清水 #5 三戸 #9 明石 #11 原田 #14 林	副審 今泉 雅敬				

両チームマンツーマンでスタート。山口は#4のドライブイン、豊浦は#11の速攻などで得点する。その後は、お互い激しく、厳しいDEFに中々得点できない。5分を過ぎ、山口はバスモーションからの3P、1on1で徐々に加点していく。一方豊浦は、DEFから速いOFFを展開しようとするが、山口のDEFの対応が早く、自分たちのペースに持ち込めない。12 - 8と山口リードで1Q終了。2Qに入り、豊浦は、#5の3P、#14のミドルで加点し追いかけるが、中々追いつくことができない。その後も豊浦は、#4の1on1を中心にOFFを組み立てようとするが、山口のDEFに足を止められ、リズムをつかむことができず、30 - 26と山口リードで前半を終了。最終Q、豊浦はインサイドプレーで攻撃、山口は#7の3Pなどで応戦するが、残り5分豊浦#5のリバウンドシュートで豊浦初めてのリードを奪う。その後山口は、#4の1on1、#7の3Pなどで逆転を狙うが、#5のリバウンド、#4の3Pと1on1で豊浦が逃げ切り54 - 57で勝利し、リーグ戦全勝優勝を決めた。(葉山雅基)

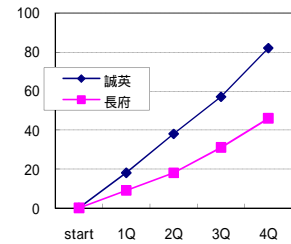


平成20年度 山口県高等学校バスケットボール新人大会兼山口県体育大会  
H21年(2009年)1月16日(金)・17日(土) 下松スポーツ公園体育館

女子決勝リーグ 1月16日 9:30

<b>誠英 vs 長府</b>	18 - 9	20 - 9	19 - 13	25 - 15	<b>82 - 46</b>
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
誠英 #4 友景 #5 清水 #6 河村 #11 本山 #13 宗正					主審 枝折 康孝
長府 #4 栗原 #6 西岡 #7 村本 #11 今村 #12 和田					副審 安部 沙織

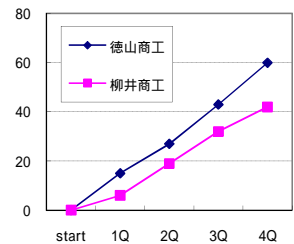
1Q両チームマンツーマンでスタート。誠英は#11の3P、#4のドライブで得点していく。長府は#7の3P、#4のゴール下で応戦するが18-9で誠英リード。2Q長府は3-2ゾーンで誠英のリズムを崩しよく守るが、逆に攻撃ではシュートを打ち切れず一進一退。後半になって長府DEFの運動量が落ちたところを、誠英は速攻やアーリーからの3Pで点差を広げ、誠英38-18長府でハーフタイム。3Q開始3分間長府は3-2ゾーンで誠英を無得点に抑えるが、攻撃のリズムがつかめずなかなか差を詰められない。そのうち誠英もゾーンに慣れてきて#6の連続3Pなどで誠英57-31として4Qへ、4Q両チームマンツーマンで速い展開。どちらもよく走り得点を重ねていくが、誠英の方が少し確率よく82-46で誠英がまず1勝。(弘中 勤)



女子決勝リーグ 1月16日 11:00

<b>徳山商工 vs 柳井商工</b>	15 - 6	12 - 13	16 - 13	17 - 10	<b>60 - 42</b>
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
徳山商工 #4 前田 #5 吉田 #6 岡田 #13 林 #14 下川					主審 小坂 祐三
柳井商工 #4 小田 #5 平本 #6 藤原 #11 花本 #13 藤井					副審 枝折 健吾

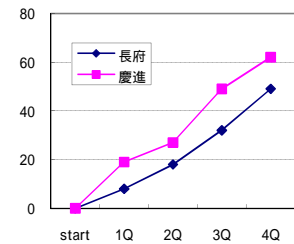
1Q,両者マンツーマンでスタート。立ち上がり固くシュートが入らない。残り2分、徳山商工#13の連続シュートで点差を広げ13-6。柳井商工、徳山商工のDEFを攻めることができない。1Q15-6。2Q,出足徳山商工DEFを緩めず、柳井商工3分間ノーゴール。前半27-19で終了。3Q,開始徳山商工は激しいDEFで一気に勝負をつけにかかるが、柳井商工も1対1で食い下がる。残り4分、6点差。その後一進一退が続き43-32で終了。4Q,柳井商工はDEFプレッシャーをかけるが徳山商工パッシングでかわす。残り7分で46-34。その後両者点が入らない。柳井商工1対1を仕掛け得点を取ろうとするが徳山商工のDEFが強く59-42で試合終了。徳山商工初戦を飾った。(枝折康孝)



女子決勝リーグ 1月16日 12:30

<b>長府 vs 慶進</b>	8 - 19	10 - 8	14 - 22	17 - 13	<b>49 - 62</b>
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
長府 #4 栗原 #6 西岡 #7 村本 #11 今村 #12 和田					主審 兼重 晃
慶進 #4 岡崎 #5 梅野 #6 渡邊 #8 大田 #12 橋本					副審 網屋 みちる

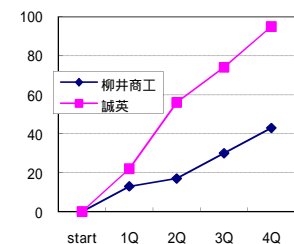
立ち上がり共にハーフコートマンツーマン。スベ-スをとったパッシングからのドライブで互角の攻防が続く。5分で8-8。その後慶進に速攻が始め19-8と慶進リードで1Q終了。2Q慶進の激しいDEFに長府はシュ-トまでいけない時間帯が続く。長府は3-2ゾ-ンに変化するが慶進は#4、#12を起点として落ち着いて攻め、残り3分で27-12。しかし長府はゾ-ンの運動量を増やし追い上げ、27-18で前半が終了する。3Qどちら譲らず10点差前後で推移する。流れが変わったのは5分。慶進#4の連続3Pなどで45-23と試合を決定づける。48-32の16点差で最終Qへ。長府は激しいオ-ルコートマンツーマンのプレスDEFを展開するが、慶進#4が落ち着いてゲームをコントロールし62-49で慶進が勝利をおさめる。長府はこれで初日2敗目を喫するが、明日の奮起を期待したい。(松田省吾)



女子決勝リーグ 1月16日 14:00

<b>柳井商工 vs 誠英</b>	13 - 22	4 - 34	13 - 18	13 - 21	<b>43 - 95</b>
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
柳井商工 #5 平本 #6 藤原 #11 花本 #13 藤井 #13 吹田					主審 有澤 重行
誠英 #4 友景 #5 清水 #6 河村 #11 本山 #13 宗正					副審 國本 剛

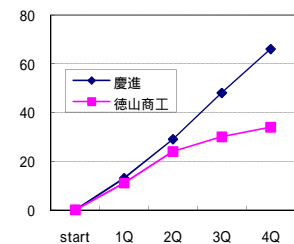
柳井商工は#11、#5の連続3Pで先制するも、誠英のオールコートマンツーマンDEFにボール運びを苦しめられる。誠英はターンオーバーから#13がミドルシュートを確実に決め誠英22-13で1Q終了。柳井商工はポストになかなかボールがつかず外から打たれ得点が伸びない。誠英はDEFをゆるめず速攻に持ち込み加点し前半終了。誠英56-17柳井商工。後半も誠英はオールコートDEFでプレッシャーをかけターンオーバーから速攻・3Pと自在の攻撃。柳井商工は#6のポストブレイク、#11の連続3Pで一矢報いるも95-43でゲーム終了。誠英は2勝、柳井商工は苦しい2敗目を喫した。(弘中 勤)



女子決勝リーグ 1月16日 15:30

<b>慶進 vs 徳山商工</b>	13 - 11	16 - 13	19 - 6	18 - 4	<b>66 - 34</b>
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
慶進 #4 岡崎 #5 梅野 #6 渡邊 #8 大田 #12 橋本					主審 多賀谷 豊
徳山商工 #4 前田 #5 吉田 #6 岡田 #13 林 #14 下川					副審 奥野 忠

両チ-ム共にハーフコートマンツ-マンDEF。慶進は#4にボ-ルを集め、徳山商工は全員が得点に絡み、13-11とわずかに慶進リードで1Q終了。2Q開始から慶進#8のゴ-ル下、#5のドライブ、#6のフックとバランスの良いOFFが続く。5分には21-13。徳山商工も#5のポストで応戦。前半は29-24と僅差ながらも慶進リード。後半に入り、慶進のDEFが激しくなり、徳山商工はターンオーバーを連発。34-24となった2分に徳山商工はTOを取るが、動きの止まった状態になりリズムのないOFFとなる。その後も慶進の勢いは止まらず48-30で3Q終了。4Q慶進#8のハイポストドライブを皮切りに#4の3連続シュ-トで56-30と試合を決定づける。結局66-34と慶進の勝利となる。(松田省吾)

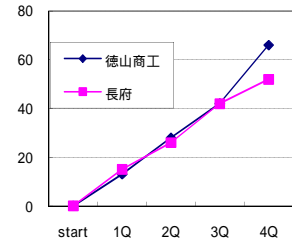


**平成20年度 山口県高等学校バスケットボール新人大会兼山口県体育大会**  
**H21年(2009年)1月16日(金)・17日(土) 下松スポーツ公園体育館**

女子決勝リーグ 1月17日 9:30

<b>徳山商工 vs 長府</b>	13 - 15	15 - 11	14 - 16	24 - 10	<b>66 - 52</b>
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
徳山商工 #4 前田 #5 吉田 #6 岡田 #13 林 #14 下川					主審 吉田 俊二
長府 #4 栗原 #6 西岡 #7 村本 #11 今村 #12 和田					副審 島本 智江

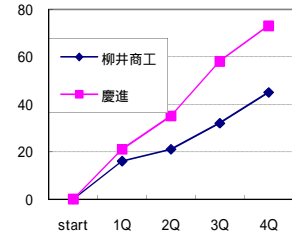
両者マンツーマンでスタート。商工は固さがみられ、シュートが決まらずリズムをつかめない。長府は#4#7のドライブインなどで得点を重ねる。5分商工#14のシュートが決まり、2 - 11。その後、商工はリバウンドからのシュートなどでリズムをつかむ。13 - 15と長府リードで1Q終了。2Q長府が立ち上がり攻めあくむ間、商工#13の3Pで逆転。長府はすかさずダブルチームで商工のミスを誘う。残り3分、長府#12の3P、#4の1on1が決まり21 - 22と追いつく。流れをつかむかと思われたが残り2分、#12がファウル交代、苦しい展開。最後は商工#14の3Pで28 - 26と商工逆転で前半終了。3Q商工は#14の3Pでリードを広げるが、長府も#12の連続3Pで追いつき、ドライブインからのシュートで流れを引き戻す。商工は、長府のDEFに押し上げられ、トレイルからのプレーを決めることができない。お互いにミスでチャンスを活かせず42 - 42と同点で終了。4Q商工の3Pやハイローで得点しリードを広げる。残り5分、長府#12の1on1で粘るが差は縮まらない。残り3分、オールコートでプレスをかけ、攻撃につなげるがシュートを決めることができず66 - 52で試合終了。(西村浩子)



女子決勝リーグ 1月17日 11:00

<b>柳井商工 vs 慶進</b>	16 - 21	5 - 14	11 - 23	13 - 15	<b>45 - 73</b>
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
柳井商工 #5 平本 #6 藤原 #11 花本 #12 岸本 #13 藤井					主審 弘中 勤
慶進 #4 岡崎 #5 梅野 #6 渡邊 #8 大田 #12 橋本					副審 若本 泰徳

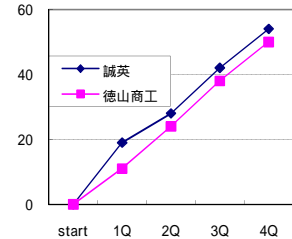
双方マンツーマンでスタートする。慶進は#4の積極的な1on1からOFFをしかけ、ファウルを誘いフリースローをもらいこれを確実に決めていく。一方柳井商工もペイント内でのファウルから得たフリースローで加点していくが共に得点が思うように伸びず、我慢の出し、終盤は3Pが入り始め16 - 21で1Q終了。2Qの出足は#11の積極的なOFFにより柳井商工ペースで始まる。柳井商工のパスランが機能し慶進のDEFが後手に回ってしまいファウルが増加した。ここで慶進はDEFのプレッシャーを上げ、リズムを取り戻す。OFFでは#8のインサイドを徹底して使い加点していく。徐々に点差も広がり慶進がゲームの流れを完全につかんだ。21 - 35で2Q終了。3Qも慶進の#8中心の攻撃が機能し一気に攻勢を仕掛けた。柳井商工は単発のOFFで終わってしまう。32 - 58で終了。4Q柳井商工はインサイドに攻撃の起点を作り慶進のファウルを誘いフリースローをもらうがゲームの大勢は決まってお慶進45 - 73の勝利であった。(安武宏典)



女子決勝リーグ 1月17日 12:30

<b>誠英 vs 徳山商工</b>	19 - 11	9 - 13	14 - 14	12 - 12	<b>54 - 50</b>
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
誠英 #4 友景 #5 清水 #6 河村 #11 本山 #13 宗正					主審 伊藤 秀明
徳山商工 #4 前田 #5 吉田 #6 岡田 #13 林 #14 下川					副審 網屋 みちる

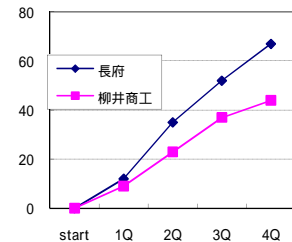
両チームマンツーマン。商工#4のリバウンドシュート、#6の3P、#14の得点でリードする。誠英は、#6の3P、#11のドライブイン1on1で加点するも速攻からのシュート、フリースローが決まらず流れを掴みきれない。両者決定力不足で試合が進む。2Q立ち上がり商工19 - 16と追いつける。誠英は、スピーディーな攻めをするがシュートにつながらず、苦しい展開。商工はリバウンドを頑張り商工ペースで進むも終了間際、誠英#5の3Pが決まり前半28 - 24で終了。3Q商工#5のハイポストからのシュート、#13のシュートでリズムに乗る。42 - 38で4Qへ。商工は#14#4の得点で追いつける。#13がシュートを決め残り3分で同点にするが、誠英もすぐに入れ返しDEFで粘った後、連続得点。商工はファウルをもらうものの、得点に結びつかない。誠英は、#5の活躍でリードを広げる。残り1分商工は#6の得点後、ACでプレスをかけ残り10秒で#4がシュートを決めるが、粘る商工を振り切り54 - 50で誠英が勝利を挙げた。(西村浩子)



女子決勝リーグ 1月17日 14:00

<b>長府 vs 柳井商工</b>	12 - 9	23 - 14	17 - 14	15 - 7	<b>67 - 44</b>
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
長府 #4 栗原 #6 西岡 #7 村本 #11 今村 #12 和田					主審 高木 直樹
柳井商工 #4 小田 #5 平本 #11 花本 #12 岸本 #13 藤井					副審 中村 秀明

中国大会出場のための最後の1枚の切符を求めて、どちらも負けられない一戦である。立ち上がりともに八 - フコトのマンツーマン。長府は#12が果敢に攻め、柳商は#13が長府#11との mismatch をつき、一進一退の攻防が続く。7分長府8 - 9柳商。その後押し上げのきついDEFに柳商はターンオーバーを連発するも、長府もイージーシュートを落とし、どちらも流れを掴みきれないまま長府12 - 9柳商で終了。2Qに入り、#6#4#12のドライブが決まり、21 - 11。点差が開きかけるが柳商#5の得点でなんとかついて行く。後半に望みを繋ぐ35 - 23と長府リードで終了。後半に入り、長府の運動量が全く落ちず#4のロ - ポスト、#6のドライブ#7の3Pと一気に44 - 25。柳商はDEFをオールコートに変更し、#13が3Qだけで9得点と踏ん張るが、52 - 37で3Q終了。柳商は動きが止まり、長府のドライブに対し対応できなくなる。最後まで流れは変わらず67 - 44でタイムアップ。古豪長府は5年ぶりの中国大会出場となる。(松田晋吾)



女子決勝リーグ 1月17日 15:30

<b>慶進 vs 誠英</b>	13 - 17	10 - 12	14 - 15	20 - 18	<b>57 - 62</b>
Starters	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
慶進 #4 岡崎 #5 梅野 #6 渡邊 #8 大田 #12 橋本					主審 渡辺 博史
誠英 #4 友景 #5 清水 #6 河村 #11 本山 #13 宗正					副審 安部 沙織

両者マンツーマンでスタート。1Q17 - 13で終了。2Q慶進は#4#8の1on1で得点をねらう。誠英は#12のローポストを狙いながら攻撃を展開する。両者DEFで粘り一進一退の攻防が続く。29 - 23と誠英リードで前半を折り返す。3Q誠英#5の切れのあるドライブから崩しあわせのシュートでリズムに乗る。慶進もすばい寄りて#12の攻撃を防ぐも誠英は#11の3Pなどでリードを広げる。終盤、慶進は#4#8のコンビで得点を重ね食い下がるが、誠英リードのまま4Qへ。誠英は、#4#5の絶妙な2on2、スピードのある1on1など安定した力を発揮し、強さをみせる。残り3分慶進は早い攻めからシュートを打つも決まらず、点差が縮まらない。残り1分#4#15#12が意地をみせ得点するも、最後は誠英#5がゲームをコントロールし62 - 57で誠英が優勝を飾った。(西村浩子)

